

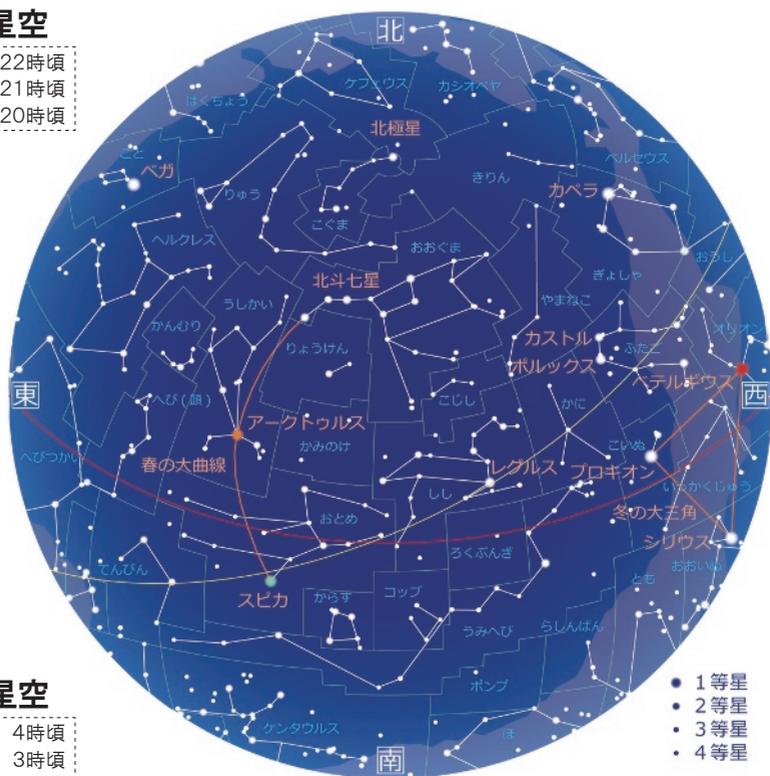
星空ガイド 4月16日～5月15日

よいの星空

4月16日22時頃

5月1日21時頃

15日20時頃

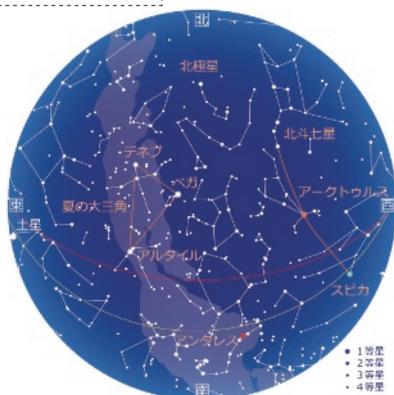


あけの星空

4月16日 4時頃

5月1日 3時頃

15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	火	5:25	18:31	11:18	1:30	7.4
	21	日	5:19	18:35	16:08	3:56	12.4
	26	金	5:13	18:39	21:07	6:08	17.4
5	1	水	5:08	18:43	0:54	10:47	22.4
	6	月	5:03	18:47	3:39	16:41	27.4
	11	土	4:58	18:51	7:02	22:31	3.0
	15	水	4:55	18:54	11:08	0:41	7.0

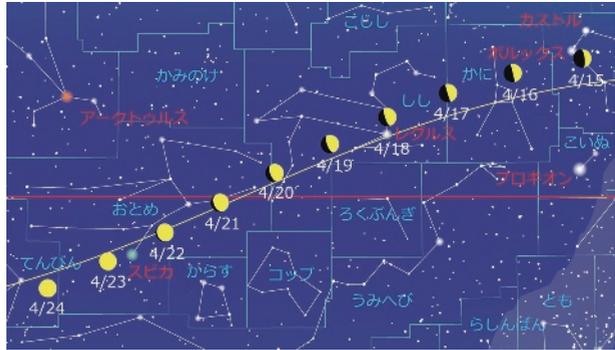
※惑星は2024年5月1日の位置です。

月と明るい星の並び

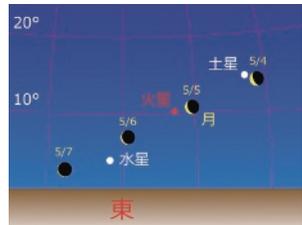
月は毎日少しずつ満ち欠けて形が変わるとともに、見える場所も変化するため、毎日観察していると星座の間を動いていくのが分かります。

4月後半は、春の星座の中を、月が通過して行きます。特に4月15日はふたご座のカストル・ポルックス、18日はしし座のレグルス、22日～23日はおとめ座のスピカという、明るい星の近くに月がやってきます。

5月になると、明け方の空に月が見えるようになります。5月4日には土星と月が、5日には火星と月が並んでいる様子が見られます。5日はその後昼間かけて火星と月がさらに接近し、火星が月に隠される火星食が起こります。ただし、昼間の現象なので、観察には望遠鏡が必要です。



毎日の月の位置の変化(月の位置は各日21時:大阪)



明け方の月と惑星
(日の出30分前:大阪)

江越 航(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	16	火	●上弦(4時)/土用の入/月とプレセペ星団がならぶ
	18	木	月とレグルスがならぶ
	19	金	穀雨/明空の低空に水星と金星が接近
	20	土	月が最遠(405,542km)/月とデネボラがならぶ
	21	日	木星と天王星が接近
	22	月	こ座流星群が極大(16時)/ユダヤ暦過越祭の始まり/月とスピカがならぶ
	24	水	○満月(9時)
	27	土	明方に月とアンタレスがならぶ
	29	月	昭和の日/明方に火星と海王星が非常に接近

月	日	曜	主な天文現象など
5	1	水	●下弦(20時)/八十八夜
	3	金	憲法記念日
	4	土	みどりの日/明方に月と土星がならぶ(ニュージーランドなどで土星食)
	5	日	こどもの日/立夏/火星食(12時6分7秒潜入～13時16分31秒出現)
	6	月	振替休日/月が最近(363,258km)/明方に月と水星がならぶ
	7	火	この頃みずがめ座η流星群が極大
	8	水	●新月(12時)/火星が近日点通過
	10	金	水星が西方最大離角
	13	月	天王星が合/月とカストル・ポルックスがならぶ
	15	水	●上弦(21時)/月とレグルスがならぶ